

リセント・ガールズプラス アペンド

Recent Girls⁺

append



DOJIN
R18
成人向け

「なあに? おちんちんきもちいいってなりたいの。クスクス…」
どうぞ、自由につづけ。

「えつ? どうして私があなたのおちんちんさわらなきやいけないの? お? せくつた! 嫌よ。ほらほら、注文どおりおしつこする所は見せてあげる。」



「ウフフツ…。こんな事で興奮しちゃって可哀想な人…。」
じやあ見てあげるからそのまま自分でシコシコして
汚い汁たくさん出してくださいね。」

あ、私にかけたら別料金よ。クスクス…。」

ワニ

「あくあ…結局こんなにかけちゃつて…」

「目の前にハメドロのおまんこがあるのに
一人で惨めにおちんちんがついていいですか?
フンフンコツコツシコツコツコツコツコツコツ
よがつちたいですぬくっ♥♥シコツコツコツコツ

あ

わー

あ

「あくあく♥どうかに私のおまんこもちよく
してくださるおちんぽ様いなしかなあく♥
あさなうだ、イイ事を教えてあげる♥
刺さったの赤ちゃんよりぶつかるとじおもちゃが
まだおちんぽ押れた事がないんですよ♥
実はまだおまんこ♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥

「きやつ♥そんなんに飛ばしちゃつて…
可愛らしくいいおちんちんですねくっ♥♥
澤山かけていくんですねくっ♥♥
いんですよくっ♥♥

ひやあつま、待つてくだひやーつ
ここでの本番は禁…あひいいいつ

おんひいつおしりつかまないでえつ
んほつオオア、足つかな：待つへえ
んほつオオオオシゅがーいいいい

らめつおちんちん初めてなの
こんなあちゆいの知らなつ
おおおおおおおおおおおおおおおお
しゅがーいいいい

まむちゅ
ばちゅ

ばくちゅ

バロ

はいはいはひいつざめんなひやーおちんぽ様馬鹿にして
ごめんなひやいいしいつ

まいまいりまあたあおまーうおらんぽ様に
こーふくしましゅつたからあもうとお
おちんぽつほへええさ

あおんほあおおおおおおおおおおおお
あひつあひつあひつあひつあひつ
イグウウウウウウウウウウウ
ウウウウウウウウウウウウウウ

先に5回イつたら負けゲーム

「んひツ♥ヒツ…♥お、お前…ま、またな…うう、これで3回…め…だからな…♥」

「あひつ♥あ…ちか…レはイ…た訳じや…そ、云の…」
「レはイ…た訳じや…そ、云の…」

「ググググ

「へツ…お、お上品なエスカレータ組様が
しけよん…穴いじられて…♥
んべんおもられたあ笑わせてくれるぜっ」

トイイイイイイイイイイイ

06

「はあつりけ：耳までユルくなつたのか？
そんな声出しきよくなつたのか？
全然気持ちよくなつたのか？
かっこいい攻めじやんかねーし！
」

「はあつ…イーイってないって
さうきてるだらう！そんにお前だつて
汚い声で喘いでたクセに！」

「そんなんことつてなああう…」

「んう…もしかしてまたイつたかあ？」

「わ、以外じるのマリー様だけだし…」



二人とも負けなので罰ゲーム



『…ほら、さつさと指名しな…』

『はあ？ 私は受付だからむーり： 残念だつたな、くだらない事言つて…』

『なッ…へ生しらすのリキュール潰け(つて： チツ：お前：隠しメニュー知つてそくな顔じやないのに…』

『わ、わがつてるよ…ちゃんとするつて…』

リキ

『くつ…だ、だすぞ…♥』

リキ

『う…うるさい！か：可愛いなんてつ： ど、どーせ私はこんなカツコ似合わないよ！』

此処は一部の人間にのみ立ち入る事が許された、とある店の夜の顔。
そこでは戦車道を嗜む女子達が、普段抑えている欲求を発散させる。
為に働いている。



『あ、ご主人様♥いらっしゃりませ♥
また、私をご指名ですか？ふふつ…
いつもありがとうございます♥』

『いつものですね？わかつでありますわ
では失礼して：んつ…♥
ええつ：やはり言わないといけないですか…？
いえ：その、少し恥ずかしいですわ…♥』

『はい♥では、では我慢しておいたお…おしつこ
にださせて頂きます♥どうぞじっくりご覧
になつて、お召し上がりください…♥』

『ああ…たくさんで…止まりませんわ…♥
シツ…♥でも喜んで頂けて嬉しいです…♥』

（続）で、モヨン式のバイブをまんこに挿れられて、イクのを我慢させられました。

でも先ほどご主人様の前で放尿して、はしたなくも少しイキかけてたので、すぐにイつてしましました。

ああ…♥私…♥この後、たくさんおしおきされてしまふんですねわ…♥

も、申し訳ありひえんつ
ごひゅ…ごひゅじんしやまああつ♥

わら、わたくひつ
おま、おまんこお
いつ

イつてひまいますのつお
おつ
いくつ
おお
おオツ



『ハーアーイ♥ダーリンまた来てくれたんだ〜♥
ありがと♥』

『オッケー オッケー♥わかつてるうて♥
せつかちなんだから…♥まあそんなんトコも
好きなんだけど♥』

『じゃあ…おしつこ…するね…?』
ンツ…♥あ…♥』

『なつ…!たくさんでてるとか言わなくていいって…
ワタシもその…少し恥ずかしいのよ…?』

『そのわりには嬉しそうって…
そんなのダーリンに見られてるからに決まってるでしょ…』

『もお…オンナノコに恥ずかしいコトばかりさせて…
このHENTAIめ…♥』



ダーリンにHENTAIって言つたら怒つて
すつざいキツリハイブ押れられて
今白はSEXはお預けって言われちゃつた：

早くファックして欲しかったのに…
あん♡ダーリンのペニス欲しいよう…

あひつ♥だ、ダーリン♥
HENTAIなんて言つてごめんなさいっ♥

HENTAIはワタシなのつ
ダーリンの前でおしつこしてつ
バイブぶちこまれてプツシ！
ベチャベチャになつてるのでつ

ダーリンのペースジやないと満足
できないHENTAIだからあ

ダーリン♥お、お願いつ
ハメて♥ファックしてえ♥

『初めまして、君が私のお客様かな?
今日からここに入つたミカだ。』
拙い所もあると思うけどお手柔らかに。』

『で、早速だけど何をすればいいのがな…?君をキモチよくしてあげるのが私の役目なんだけれど生憎こういう事には疎くてね…』

『えっ…?ほ、本當かい!ここで、その…ほ、放尿するのかい?確かにここは基本的に私たちに何をしても良いらしいけど…』

『それは君がキモチよくなるのに大切な事なのかな…?』

『あ、ああ:わかつたよ。なら少し恥ずかしいけど頑張らせてもらうよ…』

『じゃあ…す、するよ…?…ンツ…ハアツ…』

『あ、あまりじっくり見ないでくれると、嬉しいな…こ、こんな事するの初めてだからね…す、ぐく…は、恥ずかしいんだよ…』



そして、今度はすっとあそこに玩具を挿れっぱなし…
私がキモチよくしてあげないといけないハズなのに…
…こんな事に一体何の意味が…

んつ…♥な、なあ…
そろそろコレを抜いてもいい：かな…？
こんな事をしてもつ：君がキモチよくなる
わけじやない：だろ…？

あつ♥オツ♥まつて、まつてくれ♥
強くしないでくれ♥

私は君をキモチよくつ…♥あ♥アツ♥
駄目だ…♥イクつ…♥あ♥あ♥あ♥アツ♥

ヤアヤアヤアヤア

ホホホホホホホホ

オレ
オレ
オレ

オレ

ホ

「うう…なんでアンタがこんな店に来てるのよ…」

「エリカ、今のみほはお客様だ
それにみほはこの店の一番の常連だぞ：
そんな態度ならしばらくアレはお預けだな…』

「なつ…そ、それは…』

「ふふ…エリカは利口だから
どうすればいいかわかるよな?』

「…くうう…
な、生意気な口をきて
申し訳…あ、ありませんでしたっ…』

『び、び注文どおり…
お、お…おしつこ…させで頂きますので
どうぞ…た、楽しんでく、ください…』

「ふつ……エリカは素直でかわいらしいな……
では私も……妹におしつこする所を
見せつけて喜ぶ姉ですまないな、みほ……」

(ううう：隊長以外の人におしつこ
見られてる……恥ずかしい……)



「んっ……エリカ：いつもよりたくさんでてるじゃないか?
どうやらみほに見られて嬉しいみたいだな……
なあっ！ち、違いますっ！
私はそんなん……ひあっ！」

「ふふっ……でもおしつこは嬉しそうに
はねているぞ……」



リセント・ガールズ プラス Recent Girls+ 02



合宿の下見のために
西住まほと逸見エリカは
とある海辺の小さな町にきていた。

「ほらエリカ、もうバスは行つたぞ：
何か言いたい事があるなら言つてみろ」

「そんなんのは知つていい。バスの中で
作るくらい大きいシミをスカートに
気づいてみたいだからな、乗客の何人かは
気づいてみたいだぞ」

「た、たいちよおつ……わ、私ツ……
ずっといけなくてえツ……もう我慢があ……



「……で、エリカはどうしたいんだ…？」
「ほら、辺りに人はいないから、
脱いで見せてみろ」

「は、はいっ♥♥♥我慢できなくてよだれダラダラの
私の…ま、まんじつ♥見てくださいさいい♥♥♥♥♥」

トキ…

トキ…

ムツ

ハハ

アーッ

トキ

ムツ

ハハ

アーッ

「よし…そのまま歩いてこっちまでくるんだ…
ふふ…黒森峰の副隊長がこんな変態だと
皆が知つたらどう思うだろ?うな?」

「なんだ…? 皆に知られるのを想像して
さらに興奮したのか? どうしようもない
変態だな! だったら望み通りにおねだりし
てみろ! ほら、変態らしく

「んつ…ああ…そんな…隊長お…」

「はいっ! 私は黒森峰の副隊長なのにつ
昼間から外でまんこ見せびらかじて
喜んでるド変態です! ド変態です! ド
ですからつ! 写真つ! ド
淫乱変態女つ! 証拠撮つ! てくだひやいっ! ド



そしてエリカはまほに連れられて
道路脇の浅く広い川にやつてきた

隊長つ…♥その…私…
バスの中で一回もトイレ
行けなくてえ：そのつ…♥

ふふつ：なんだ、そつちの方も
もう我慢できなーのか？
なら、そこの川の中で全裸で
するといい、ただし自分が
何をしてるか説明しながらするんだぞ

わ、わたひつ…♥
見工りかはつ…♥
お川でえつ…♥
おしつこつ…♥
おしつこしますつ…♥



いっぱい♥我慢ひたがらあ…
たくひやんで…♥

「ふつ……澤山だしたな…
気持ちよかつたかエリカ?」

「はひい……たいちよおに見られて
きもひよがつたれすつ……」

トキ
グイ

ゾク
ゾク

ブルミ

トキ

ワバ

ワタマ

ボヨン

ボタ

「そ、うか……ところでエリカ……
実はお前の痴態にあつられて
私も少し催してしまってな……」
でしてしまおうと思
うんだが……」

「た、たた隊長も
おお、おしつ……されるんです、カリ……」
「そ、うだ、私もおしつこしよ、うと
思つんだが……」
「褒美だ、一つだけ言つことを
聞いてやろう……」

「ふふ……ああ、何でもいいです、カリ……」
「ふふ……何でもいいんです、カリ……」

... 全くオナニ... するから顔につけたぞ? ハ

ほしいとは...

シンまで変態だとは思わないがつたぞ? ハ

おほつ

たいひよ

おの

おひつ

こつ

しゅきつ

おオオ

ハ

び
ち
ゅ

び
か
ぎ

「んっ...変態め! 私以外にばれたらどうするつもりだ? いいからさつさとイケ!」

「おひつほつごめんめんなひやあ...」

「おホ

おき

さ
大き

く
わ
い

く
わ
い

く
わ
い

ク
リ
ッ

ハ
ち
ゅ
か
く
ち
ゅ
か

く
わ
い

く
わ
い

お
、
お

お

お
あ

く
わ
い

ひととおり放尿を終えたまほは
川岸の階段に座り、服を全て脱ぎ始めた。

『エリカ……次はまんこにきて私のまんこを
拭めて綺麗にしてくれ』

『はいっ、隊長のまんこ綺麗にさせて
頂きます』

あひつ
イワ
あひつ
イグ

ヒツ

じゅる
ぢゅるるる
ぢゅぢゅ
ぢゅうううう
アヘン

ハサハサ

ハリ

ハサハサ

ハラ

ハラ

ハラ
ハラ

あひつ
イグ

うあつ
じゅるるる
ぢゅぢゅ
ぢゅうううう
アヘン
(隊長のまんこつ
もつと奥まで拭めたい)

(ああつ
隊長の手が頭にい
もしと舐めてくれつ
工り力あもつともつ
もつと舐めてくれつ
隊長のまんこに顔押し付けられてつ

あッダメつ
隊長のアヘ声す
私もイクつ
隊長のまんこ拭めてる
だけなのにイつ
ちやううつ
だけなのにイつ

ハラ
ハラ

その後、一人は裸のまま海の近くまで歩いてきた

たいちよおっ♪ 私いっ♪ またおじつ
したくなつちやいまじたあつ

たいちよおひー♪ あ
たいちよおひー♪

ふふつ♪ すつかり全裸放尿が
気に入つたみたいだな…♪
ほりつ♪ 隊長におひつ見られるのしゅきれすつ
まえそういう私もお前を嫌けてるうちに
すつかりハマつてしまつたがな…♪
実は私も少し…おしつ
したくてな…折角だから…
そしたら海にむかつてしまつたがな…♪
なんてどうだ…♪
するしもすつ
たいちよお
ど一緒におひつしたいれすつ

ああああああつ
するしもすつ
たいちよお



あとがき

どうも、ピケルです。今回は今まで製作していたDLCの総集編でしたが、如何だったでしょうか。BCの娘達を中心に始めて描く娘もいましたが、他のキャラに比べて資料が少ないのもあって少し描くのに苦労しましたが、（個人的には）それなりにいい具合に動いてくれたかなと思っています。個人的にはマリーがかなりお気に入りです。劇場で見た時は特に何も感じなかったのですが、いざ描いてみると攻めも受けもイケる万能な娘でした。新規のまほエリのページは原稿製作中は別のシーンを描く予定だったのですが、某ファミレスのコラボがまた始まり、そのエリカがめっちゃ可愛かったので描く事にしました。ですが、可愛さと引き換えに衣装の面倒くささもあがっていたので、描き始めてからちょっと後悔したりしなかったり…（しばらくフリルは描きたくない…）

今後の予定ですがこの後コミ1で毎度おなじみの星奈ちゃん本を、夏コミが受かれればFGOの清姫本の続きを出そうと思ってます。その後の予定はまだ決まってないですが、ずっとお待たせしてしまってるプリヤ本もできれば今年作りたいと考えています。プリヤやFGOに関してはツイッターの方で「もう描かないのか」と聞かれたりする事も増えて待って頂いてる方には本当に申し訳なく思います…描かないという事は絶対に無いのでもう少しお待ちください…（むしろもっと描きたいくらいです）

という事で長くなってしまいましたが改めて今年もよろしくお願いします。

Recent Girls Plus Append

著 者:ピケル

編集者:みなもとけい

初 出:ぱんつあ☆ふおー!13

発行日:2018年2月4日

発 行:つるつるパイン

印刷所:大陽出版株式会社

mail:info@tsurupai.xii.jp Twitter:[@tsurupaiinfo](https://twitter.com/tsurupaiinfo)

★警告★本作品の全部又は一部を当サークルに無断で加工・改変し、公衆回線を通じてインターネット上に公開する事を固く禁じます。また本作品は架空の世界を題材にしたもので、実在の団体・人物・法律等とは一切関係ありません。

つるつるパン

